



河童伝説  
田主丸の河童は  
どこから来たの?! [諸説あり!]

◆河童の頭目「九千坊」～中央アジアから筑後川へ～  
河童の先祖は中央アジアから移住してきました。寒さと食料不足のため、二隊に分かれて大移動を開始。そのうち「九千坊」を頭目とする一隊が日本へやって来ました。彼らが最初に棲み着いたのは熊本県の球磨川。ある時、肥後の國主・加藤清正に仕えていた小姓を河童が川へ引きずり込んで殺してしまった。激怒した加藤清正から逃げ延びるため、筑後川へと移り久留米の水天宮の御護り役となつたのです。

◆お江戸・日本橋に出るも…  
その後、九千坊一族は、水神様が江戸に祀られたことで、江戸へ移り住みます。しかし、九千坊の河童達、悪戯が止まらず、頭目「九千坊」に破門された河童達は、全国の川に散っていきました。そして、頭目「九千坊」は、有馬の藩主に許しを乞い、古巣筑後川に帰ってきました。

◆筑後川の支流・巨瀬川に  
餌が豊富な筑後川沿岸。巨瀬川畔の人々は、人情こまやかで河童に対しても親切。こうして、九千坊一族は、ここを住む地と定め、水清き巨瀬川の田主丸馬場の蛇鈍を本拠として存在しているのです。



[発行元]  
田主丸河童族 [2024年3月発行]

[観光に関するお問い合わせ]  
久留米市役所 田主丸総合支所 産業振興課  
〒839-1233 福岡県久留米市田主丸町田主丸459-11  
電話: 0943-72-2110 FAX: 0943-73-2288

## 田主丸 かっぱMAP

「河童伝説」が残る久留米市田主丸町。川の水と人々の暮らしの中で「河童」は身近な生き物として語られてきました。悪戯好き、不思議だけれどどこか愛敬のある「河童」の魅力に触れながら、地域の食事やお酒・お菓子といった観光めぐりと共に、河童めぐり散策をお楽しみください。たくさんの河童たちの中からあなたのお気に入りの河童が見つかるかも。



この河童は、今にも宇宙に飛び出でて行きそうに見えます。この河童には噴射機能があると云われていますが、噴射機能はどこにあるのでしょうか。



造り酒屋の脇にいるこの河童はとても酒の好きな河童で、いつも土瓶片手にはろ酔い気分。今宵はあなたも地酒をおひつといがわ。



郵便局の脇にさりげなく立っています。千客万来を呼び起こす河童です。



ようこそ田主丸へ。  
ぼくは、田主丸の楽太郎だよ。  
さあ案内するよ。この中に  
ぼくがいるけど、見つけられるかな?!



# tanushimaru kappa map

**Map Labels:**

- 1 親子河童 Mother Kappa with Child
- 2 お迎え河童 Station Welcoming Kappa
- 3 楽太郎河童 Raku-tarō Kappa
- 4 カッパロード Kappa Road
- 5 巨瀬入道河童 Kose-Nyūdō Kappa
- 6 田口長衛門河童遭遇の碑 Cho-Emon Taguchi Kappa Site
- 7 河童の壁画 Kappa Wall
- 8 河童大明神 Kappa Shrine
- 9 巨瀬入道鎮魂蛇渕の跡 Kose-Nyūdō Jabuchi Site
- 10 河童の弥五郎(碑) Yagorō Kappa Site
- 11 鉄河童 Iron Kappa
- 12 河童(普段) Praying Kappa (Flood Protection)
- 13 弥五郎息子河童 Sumo Kappas
- 14 守護神河童 Kappa Guardian
- 15 祈り河童 Praying Kappa (Harvest Rain)
- 16 灯火河童 Lantern Kappa
- 17 親子河童 Mother Kappa with Child
- 18 監視河童 River-Guard Kappa
- 19 かっぱ広場 Kappa Square
- 20 宇宙河童 Flying Kappa
- 21 屁こぎ河童 Happy-Go-Lucky Kappa
- 22 和くら野河童 Wakurano Kappa
- 23 まんだら河童 Mandala Kappa
- 24 招き河童 Welcoming Kappa

**Information Boxes:**

- かっぱ巡りスポット 1 ~ 24
- A ~ L ※情報面に店舗情報を掲載
- 飲食ができるお店 ※情報面に店舗情報を掲載
- 参考ルート 約2.6km
- マンホールにもカッパがいるよ!!
- モンペット・クワ
- レンタサイクル(貸出有料)もあるよ!  
JR田主丸駅 (0943-72-4956)

**Texts and Notes:**

- ひばり川にゴミを捨てないように監視している河童。川は汚さないようにしましょう。
- 母親が子河童を背に、子河童は後ろから母河童の首にしづかりとつかまっています。母と子の愛は河童の世界でも同じようです。
- このなまづに乗った子河童は、明るく楽しい町のシンボルともいえる灯火を持って、あなたの未来を明るく照らすことでしょう。
- 田主丸には干ばつのうれいはありません。この河童が一生懸命に祈りつづいているからではないでしょうか。あなたの願いもかなうかも。
- 田主丸を不幸や災いから守るために日夜、目を光らせています。
- 河童は相撲好きで町内に出ては「相撲をとろう」と言っていたそうです。この河童は相撲が強く負けたことがないそうです。でも、よく見ると子どもしさがかわいいですね。
- 種の上の弥五郎という大急けの河童がいて、昼間は桶の上で一日中寝をしており、夜になると一晩中遊んでいた。ある日、その夜で一番暑い日に、いつものように桶の上で熟睡している間に、頭の皿の水が涸れてしまつて神通力も無くなり、巨瀬川に落ちて死んでしまったと云うことです。「河童の川流れ」とは、このことから始まつたと云われています。
- 田主丸河童族の原田鐵工所が考案して作成した河童です。鉄工の技術を活かして作られた河童は、どこかひょうきんで優しい顔をしています。
- 河童の総大将といわれる巨瀬入道は平清盛が河童(化身)となったとされており、この辺の蛇渕といわれるところに住んでいたと云われています。この巨瀬入道が二位尼(清盛の奥方)で久留米水天宮の御祭神と時々逢う時に大洪水になると云われています。
- どんな傷でも元のように治せる!「河童切傷全創膏」。ある日、田口長衛門が馬に悪さをされた河童の手を切り落とし、お湯で煮込んだ。さすがに煮込まれては「河童切傷全創膏」でも元に治せなかつたという話。
- 楽太郎は「楽しく生きる」という意味です。この河童は田主丸特産の柿やぶどうをたくさん食べて本当に幸せそうに見えます。
- 「楽しく生まれる」「田主丸へようこそ」と駅のホームで、あぐらをかいでお出迎え。(失礼をおゆるしてください)
- 平成4年にふるさと創生事業により完成した河童の駅。平成30年にリニューアル。お色直しをした河童の前で記念撮影をどうぞ。